

# 福島第一港湾内・周辺海域の 海水モニタリング状況

---

**TEPCO**

2018年 6月14日  
東京電力ホールディングス株式会社

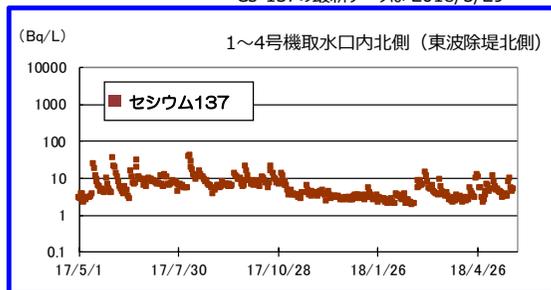
# 【1～4号機取水口開渠内】 海水サンプリング結果

■ 海側遮水壁閉合以降、放射性物質濃度は低下しているが、降雨時に一時的な上昇が見られる。

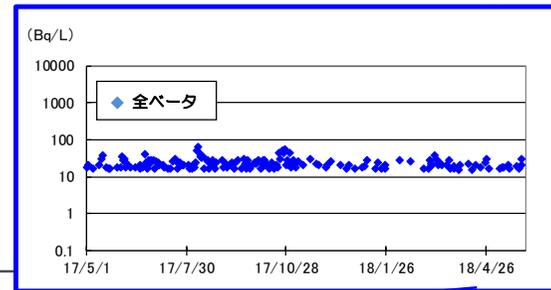
法令告示濃度 (ベクレル/リットル)

- セシウム137 : 90
- ▲ トリチウム : 60, 000
- ストロンチウム90 : 30

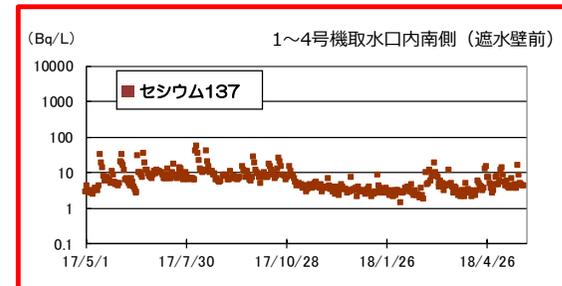
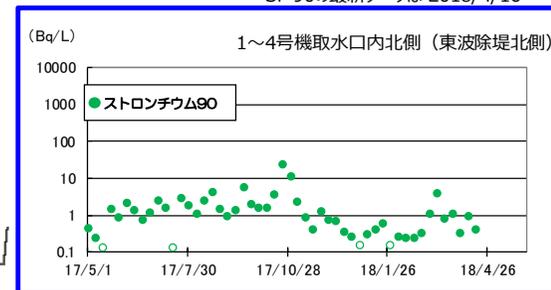
Cs-137の最新データは 2018/5/29



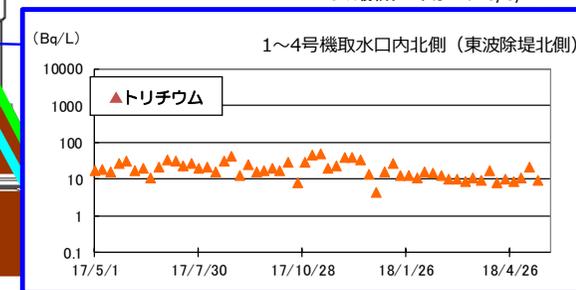
全βの最新データは 2018/5/28



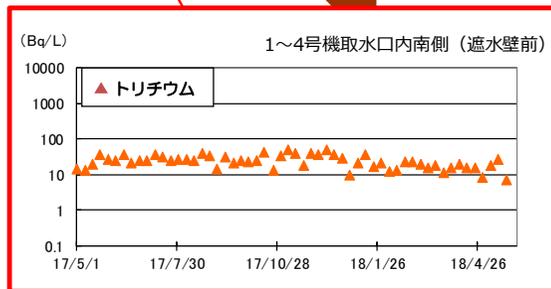
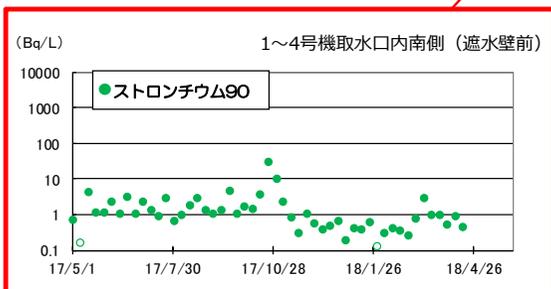
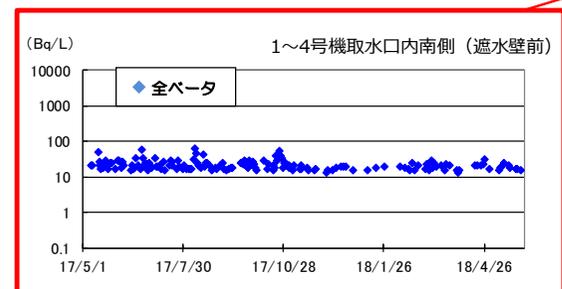
Sr-90の最新データは 2018/4/16



H-3の最新データは 2018/5/21



Cs-137の最新データは 2018/5/29



- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- ストロンチウム90検出限界値

※ストロンチウム90以外の検出限界値未满是プロットしていない

全βの最新データは 2018/5/29

Sr-90の最新データは 2018/4/16

H-3の最新データは 2018/5/21

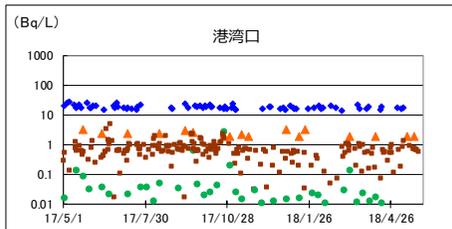
※2015年10月26日 海側遮水壁閉合完了  
 ※1～4号機取水口内南側 (遮水壁前) は、最後に遮水壁閉合を実施した箇所。  
 ※開渠内における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム (十数Bq/L)の影響を受けているもの。

■ 海側遮水壁閉合後、港湾内の1～4号機取水口開渠の外側では、海水中の放射性物質濃度が低下し、その後は低い濃度が継続。

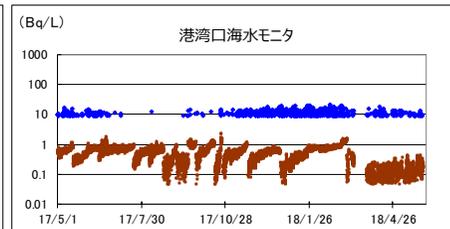
- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- ストロンチウム90検出限界値

※ストロンチウム90以外の検出限界値未滿はプロットしていない

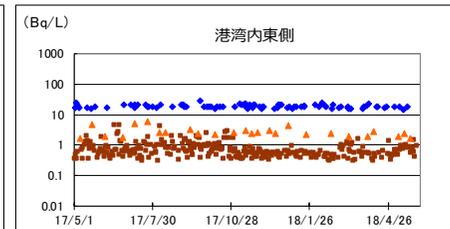
港湾口：Cs-137の最新データは2018/5/27



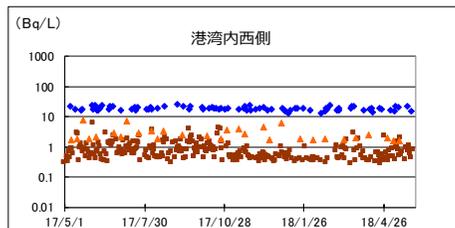
港湾口海水モニタ：Cs-137の最新データは2018/5/28



港湾内東側：Cs-137の最新データは2018/5/29

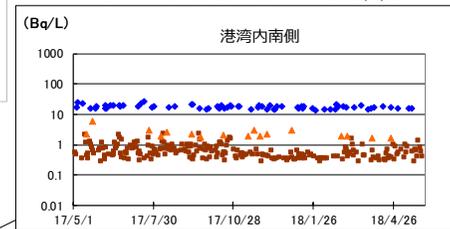


港湾内西側：Cs-137の最新データは2018/5/29

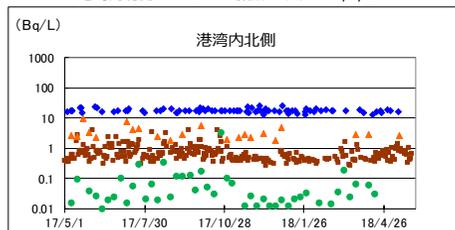


※海水放射線モニタは、荒天により海上が荒れた場合、巻き上がった海底砂の影響等により、データの変動や設備が停止する場合があります。

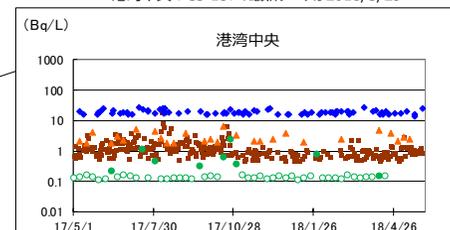
港湾内南側：Cs-137の最新データは2018/5/28



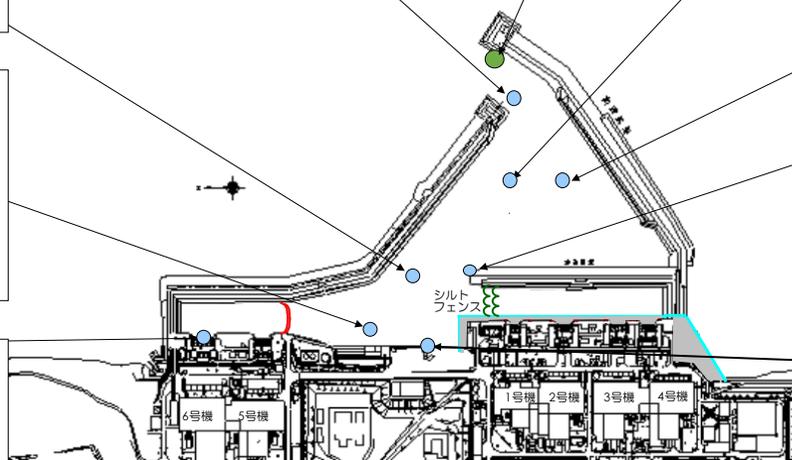
港湾内北側：Cs-137の最新データは2018/5/28



港湾中央：Cs-137の最新データは2018/5/29



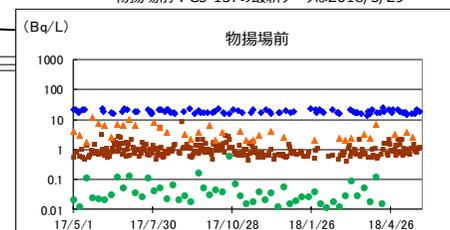
6号機取水口前：Cs-137の最新データは2018/5/29



※ストロンチウム90以外の検出限界値未滿はプロットしていない

※港湾内における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム（十数Bq/L）の影響を受けているもの。

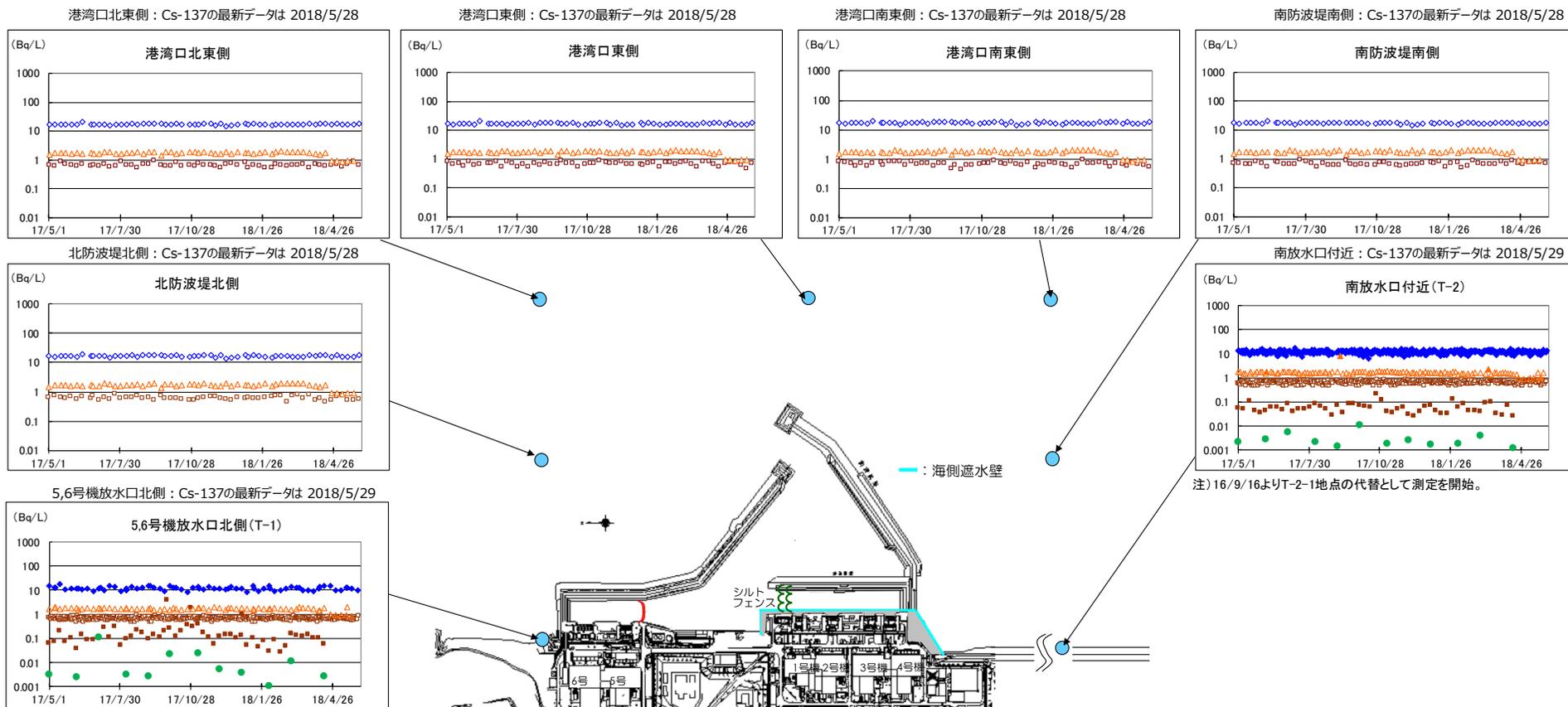
物揚場前：Cs-137の最新データは2018/5/29



# 【港湾外（周辺）】 海水サンプリング結果

■ 港湾外の各採取点は、従来より低濃度であり、ほとんどが検出限界未満を継続。

- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- セシウム137検出限界値
- ◇ 全ベータ検出限界値
- △ トリチウム検出限界値
- ストロンチウム90検出限界値



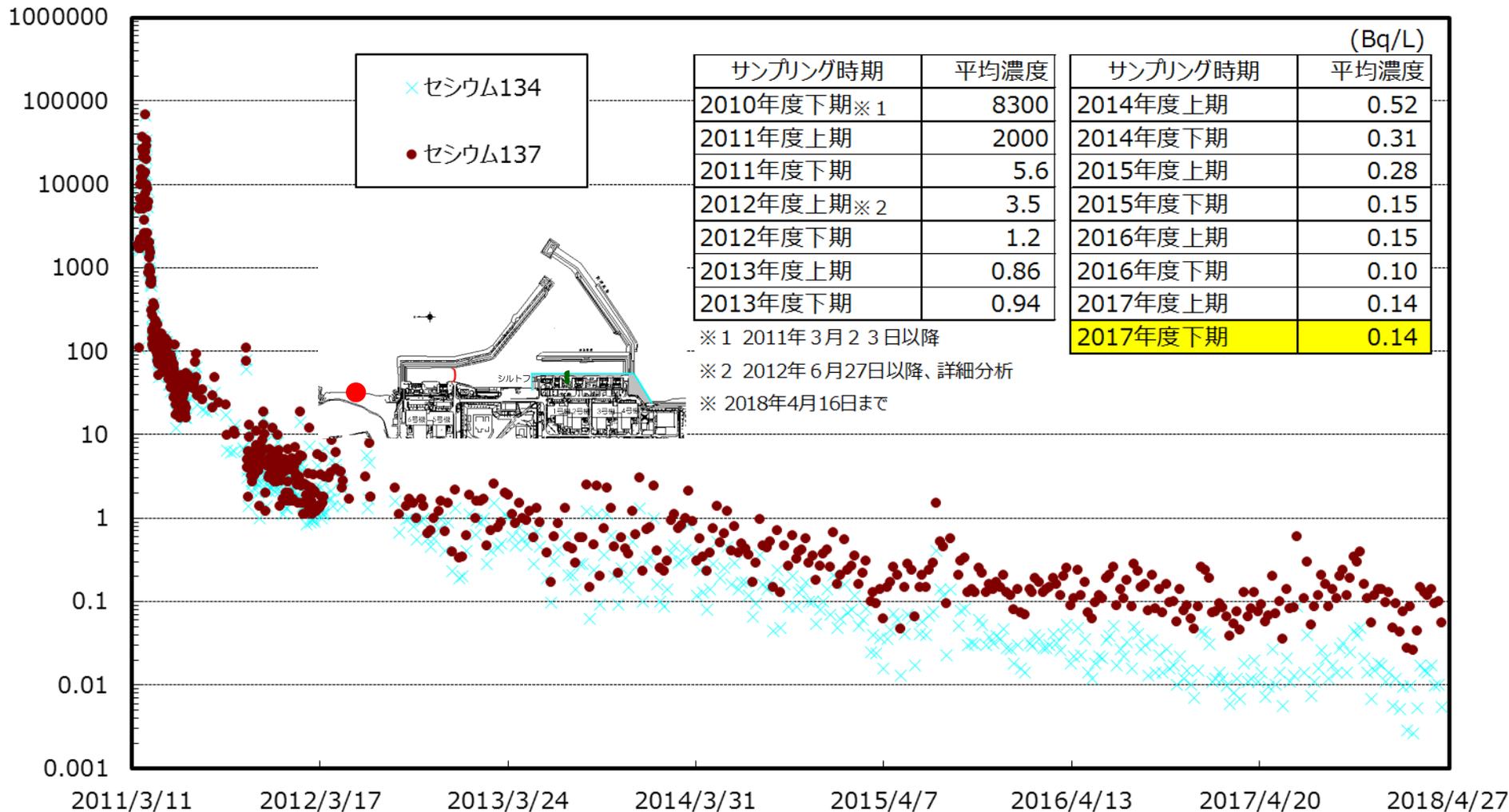
- ※ 海域における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム（十数Bq/L）の影響を受けているもの。
- ※ 5,6号機放水口北側（T-1）、9/13～南放水口約330m南（T-2）のセシウム137については、週1回の頻度で詳細分析を実施。
- ※ 2017年4月より、T-1、T-2のSr-90の検出下限値を0.01⇒0.001Bq/Lに変更。
- ※ 2018年3月23日より、T-2の採取位置を40m南（1～4号機放水口から320m）に移動
- ※ 2018年4月23日より、トリチウムの検出下限値を3Bq/L⇒1Bq/Lに変更。

# 【5, 6号機放水口北側】 海水サンプリング結果

2012年6月以降、  
詳細分析結果をプロット

(ベクレル/リットル)

福島第一 5,6号機放水口北側 海水セシウム濃度

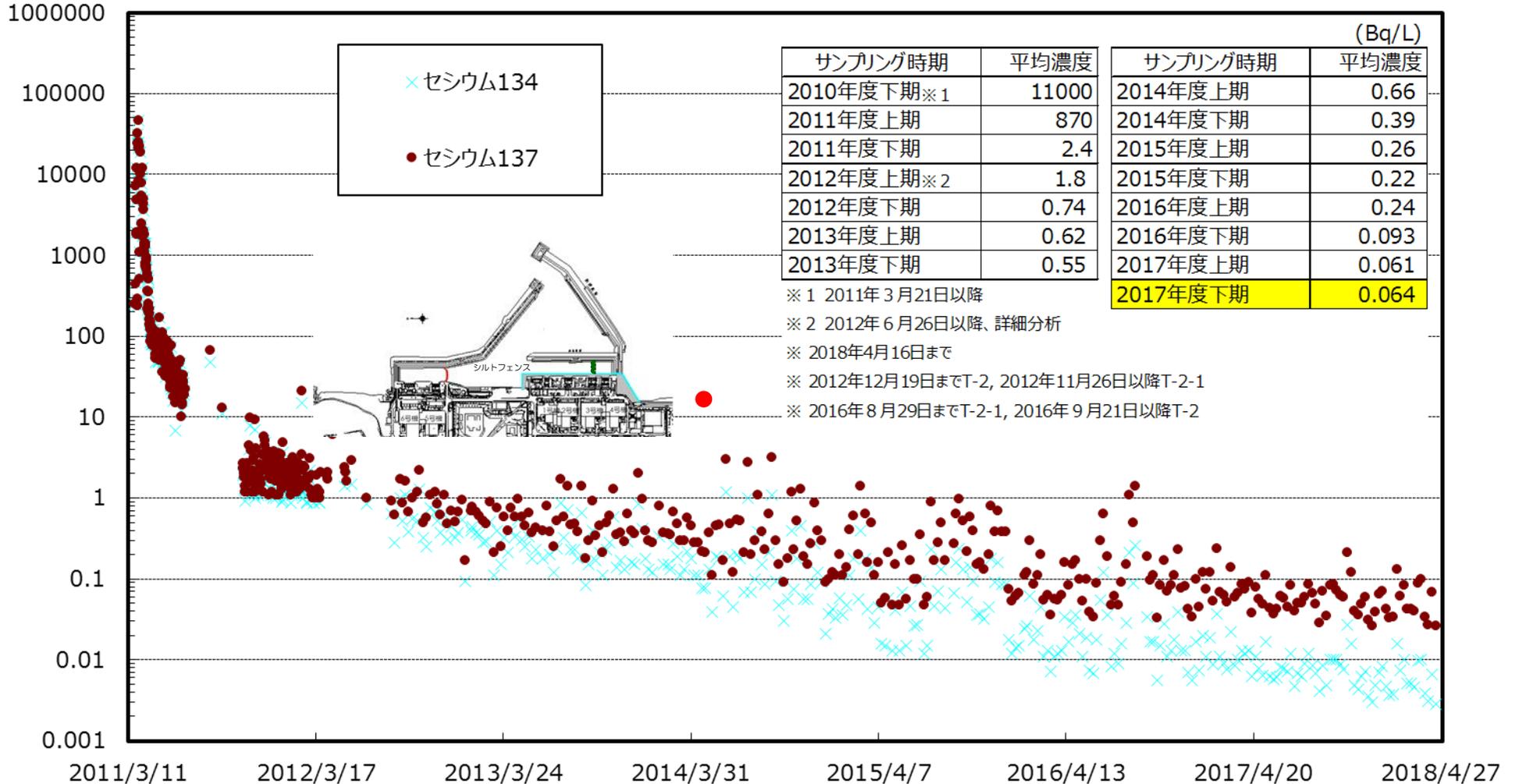


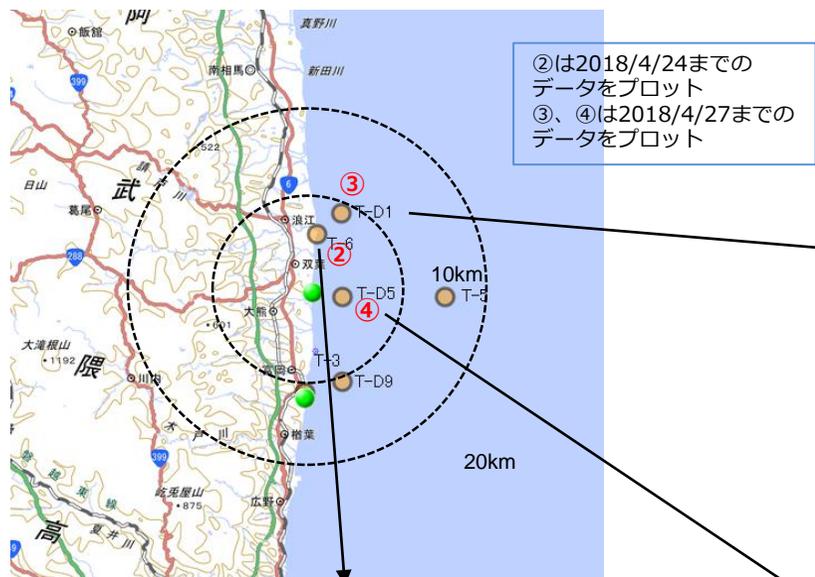
# 【南放水口付近】 海水サンプリング結果

2012年6月以降、  
詳細分析結果をプロット

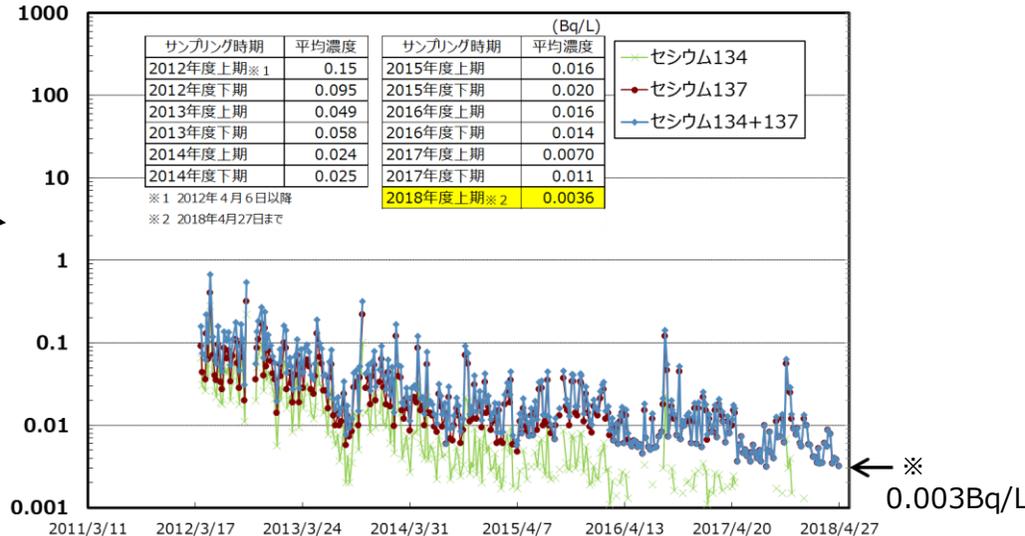
福島第一 南放水口付近 海水セシウム濃度

(ベクレル/リットル)

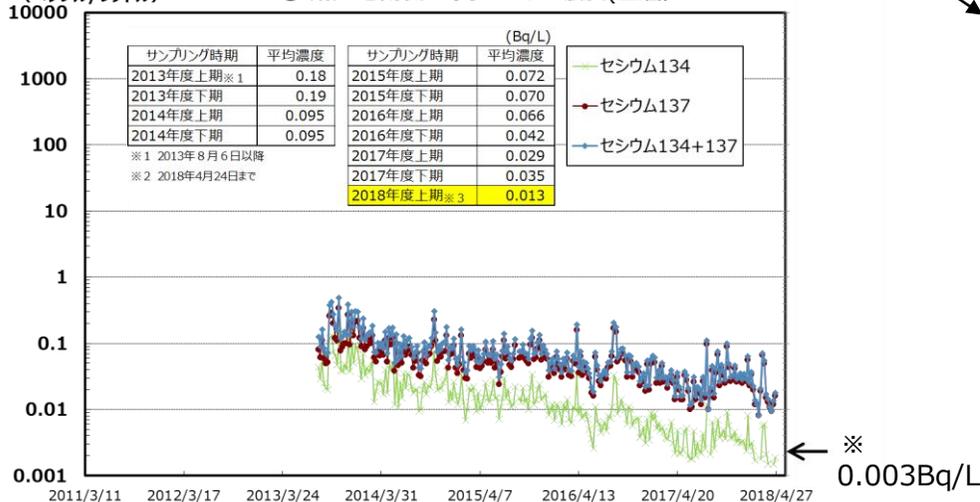




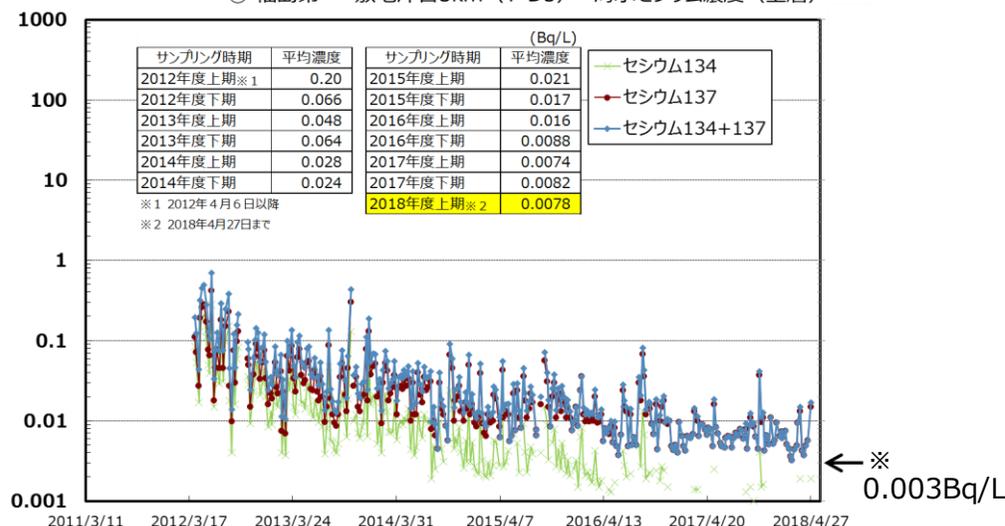
(ベクレル/リットル) ③ 請戸川沖合3km (T-D1) 海水セシウム濃度 (上層)



(ベクレル/リットル) ② 請戸港南側 海水セシウム濃度(上層)



(ベクレル/リットル) ④ 福島第一 敷地沖合3km (T-D5) 海水セシウム濃度 (上層)



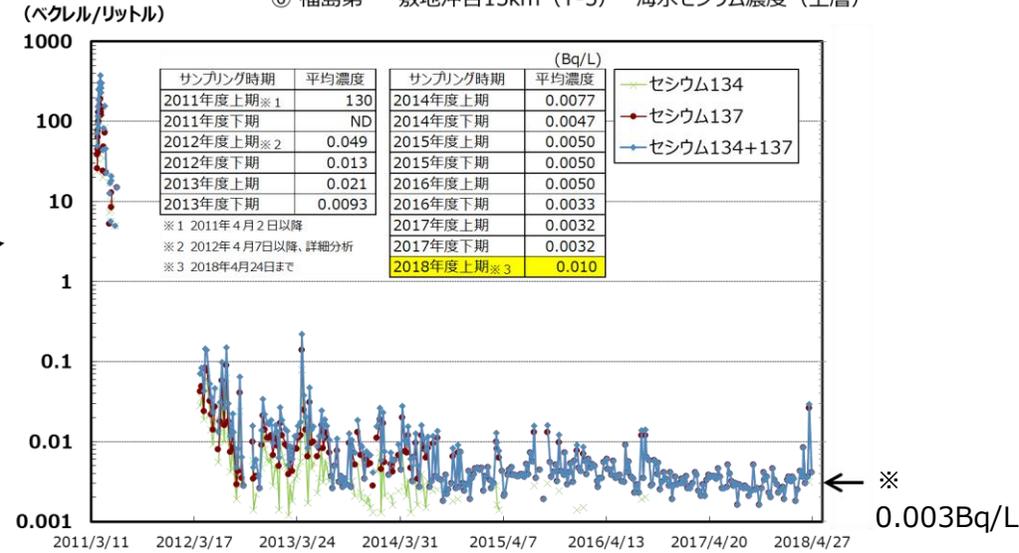
※グラフ右側の矢印は、震災前(平成22年度)の福島県海水セシウム137濃度 最大値0.003Bq/L

出典：公益財団法人海洋生物環境研究所 原子力施設等防災対策等委託費

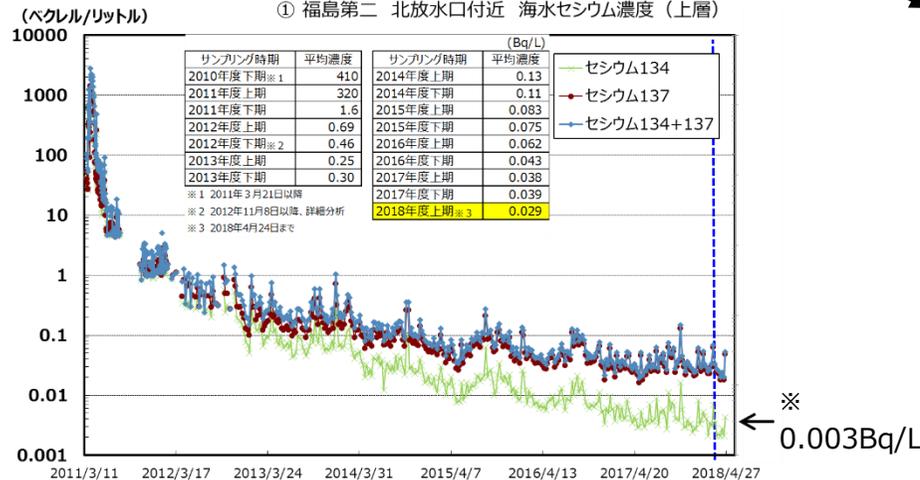
(海洋環境における放射能調査及び総合評価) 事業 調査報告書



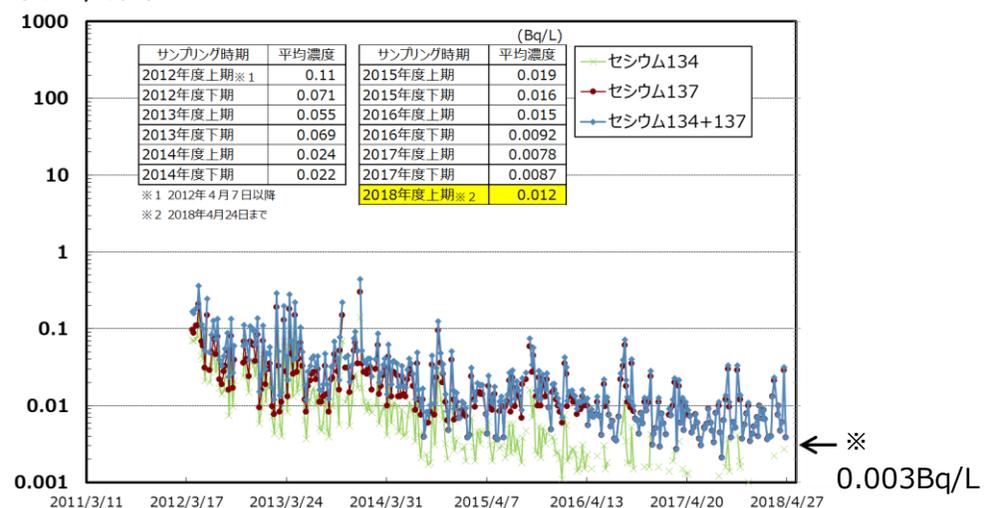
⑥ 福島第一 敷地沖合15km (T-5) 海水セシウム濃度 (上層)



① 福島第二 北放水口付近 海水セシウム濃度 (上層)



⑤ 福島第二 敷地沖合3km (T-D9) 海水セシウム濃度 (上層)



※グラフ右側の矢印は、震災前（平成22年度）の福島県海水セシウム137濃度 最大値0.003Bq/L

出典：公益財団法人海洋生物環境研究所 原子力施設等防災対策等委託費

(海洋環境における放射能調査及び総合評価) 事業 調査報告書

# <参考> 敷地内地下水のモニタリング状況

■ 一般的に、過去の変動範囲内で推移しており、大きな変動は見られない。

No. 0-1

セシウム137: 32 (5/21)  
全ベータ : 100 (5/21)  
トリチウム : 11,000 (5/21)

No. 1-9(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: -※<sup>1</sup> (5/25)  
全ベータ : 25 (5/25)  
トリチウム : 800 (5/23)

No. 2-7(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: 0.81 (5/26)  
全ベータ : 300 (5/26)  
トリチウム : 960 (5/24)

No. 3-5(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: -※<sup>1</sup> (5/24)  
全ベータ : 17 (5/24)  
トリチウム : ND(110) (5/24)

No. 0-2

セシウム137: 1.9 (5/21)  
全ベータ : 23 (5/21)  
トリチウム : 420 (5/21)

No. 1-8

セシウム137: 810 (5/22)  
全ベータ : 7,300 (5/22)  
トリチウム : 1,900 (5/22)

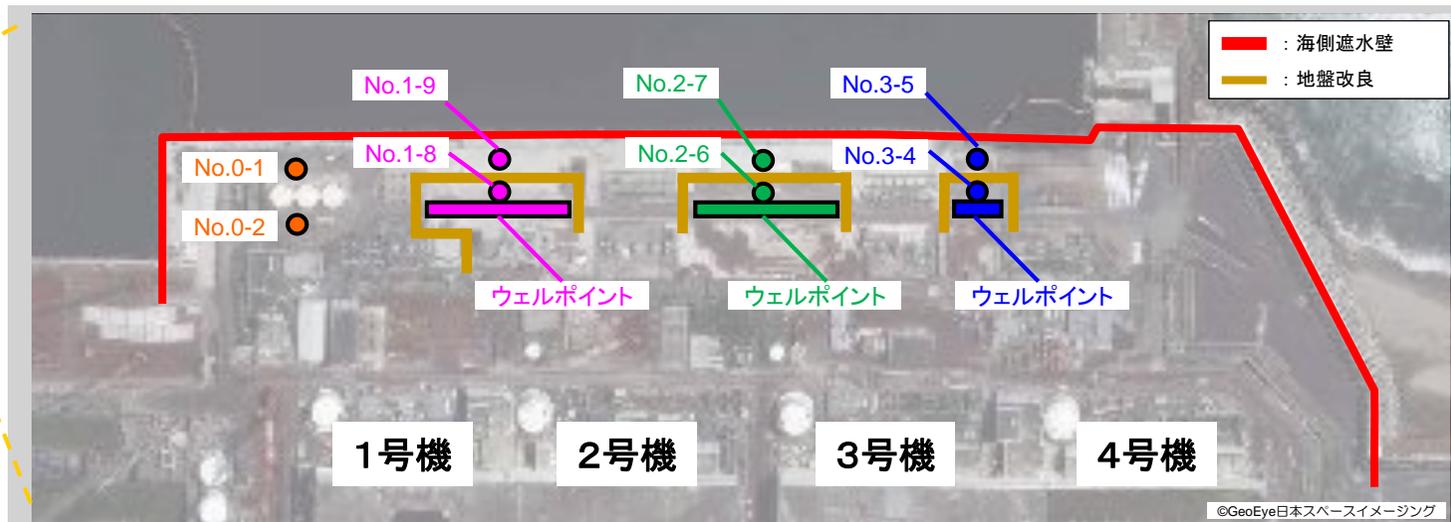
No. 2-6

セシウム137: ND(0.53) (5/25)  
全ベータ : 82 (5/25)  
トリチウム : 1,200 (5/23)

No. 3-4

セシウム137: 2.5 (5/24)  
全ベータ : ND(16) (5/24)  
トリチウム : 970 (5/24)

単位: ベクレル/リットル  
ND: 検出限界値未満  
<>: 検出限界値



1・2号機ウエルポイントくみ上げ水

セシウム137: 14 (5/22)  
全ベータ : 180,000 (5/22)  
トリチウム : 18,000 (5/22)

2・3号機改修ウエルくみ上げ水

セシウム137: 4.4 (1/29)  
全ベータ : 210 (1/29)  
トリチウム : 400 (1/29)

3・4号機改修ウエルくみ上げ水

セシウム137: 1.2 (1/25)  
全ベータ : 14 (1/25)  
トリチウム : 300 (1/25)

【参考】法令告示濃度 (単位: ベクレル/リットル)

・セシウム137: 90 ・全ベータ: 30 ・トリチウム: 60,000

※1: No.1-9, No.3-5は採水器による採取のため、γ測定(セシウム)は実施せず、全ベータは参考値としてる過後に測定。